



「おとしまゝ」「かがみもち」の写真や説明があります。

5) 日本人が結婚するとき、結婚式の形式で一番多い宗教は何ですか。

- a. 仏教 b. キリスト教 c. 神道

答え.....b. キリスト教

解説：日本で行われる結婚式のうち、キリスト教は約59.5%、神道は33.3%、仏教は1.1%です。

〔三和銀行調べ 1997年10月〕

漢字のなぞなぞ

漢字の学習が少し進んだときに、次のようななぞなぞをしてはどうでしょうか。なぞなぞを使って、漢字の形と意味を確認することができます。漢字の形は学習者にとってなかなか覚えにくいものですが、なぞなぞにすると覚えやすくなるでしょう。また、学習者にとって、なぞなぞの日本語が難しすぎる場合は、母語でなぞなぞを作ってもいいと思います。

1) 太陽(お日さま)と月が会いました。どうなりましたか。

答え.....明るくなりました(日+月=明)

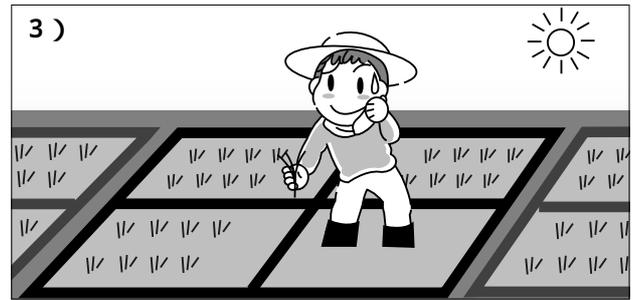
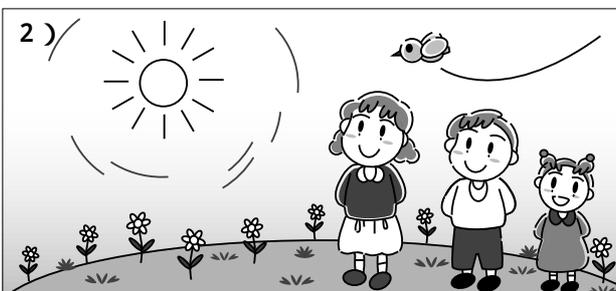
2) 三人で太陽(お日さま)を見えています。どんな季節ですか。

答え.....春(三+人+日=春)

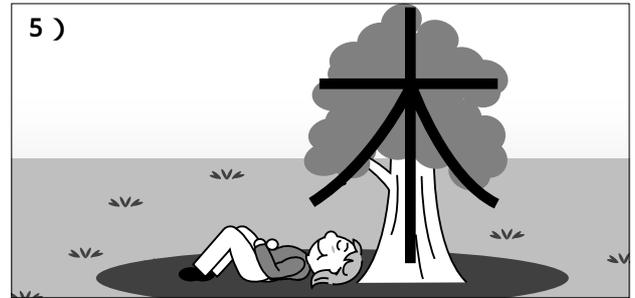
3) 田んぼで力を出して働く人はだれですか。

答え.....男の人(田+力=男)

4) 森の中から木が一本ぬすまれました。どうなりましたか。



5)



答え.....林になりました(森-木=林)

5) 木の横にいる人は何をしていますか。

答え.....休んでいます(人+木=休)

6) 十月十日に赤ちゃんが生まれました。一日のうちのいつごろですか。

答え.....朝(十+日+十+月=朝)

このような漢字の形と意味についてのなぞなぞは日本人の小学生が漢字を覚えるときによく使います。日本事情のクイズと同じように、漢字のなぞなぞも学習者に作らせてみるといいでしょう。先生も気がつかずなかつたおもしろいなぞなぞができるかもしれません。

参考文献

1. 朝日新聞社『朝日新聞ジャパン・アルマナック (Japan Almanac) 1998』(1997)
2. 朝日新聞社『ジュニア朝日年鑑1997・1998』(1997)
3. 栗岩英雄『たのしくわかる授業小一から小六漢字学習のアイデア』小学館(1994)

クイズやなぞなぞは、答えるだけでなく、作るのも楽しいです。また、自分たちで作ったものはいつまでもよく覚えています。みなさんやみなさんの学習者のすばらしい作品を送ってください。

このコーナーの担当者：北村武士、八田直美(日本語国際センター専任講師)